

令和7年度の主な事業を報告します

安全で安心に暮らせるまち

同報系防災行政無線の設置(3億7,705万円)

危機事案や大規模災害の発生時における情報伝達を音声と文字で実施するため、屋外拡声器及び戸別受信機を設置したほか、防災情報アプリ「Sアラート」をリリースしました。

住宅・建築物安全ストック形成事業(957万円)

安全で安心できる住まい・まちづくりを実現するため、既存の木造建築物等の耐震診断や耐震改修に対する補助を実施しました。

ハザードマップの改定(816万円)

令和3年度の水防法の改正に伴い、想定し得る最大規模の降雨による指定対象河川の洪水浸水想定区域を反映した最新のハザードマップに改定し、全戸配布を実施しました。

都市基盤整備と環境が整った快適なまち

木田駅周辺整備事業(3億5,749万円)

駅アクセス性の向上や浸水被害軽減のため、都市計画道路木田駅前線の整備や幹線水路の改修を行いました。

宅配ボックス設置費補助金(165万円)

脱炭素化の推進や再配達に係る配達事業者の負担軽減のため、宅配ボックス設置費の一部を補助しました。

心身ともに健康に暮らせるまち

基幹相談支援センターの設置・運営(4,256万円)

障がいのある人への相談支援体制を充実させるため、基幹相談支援センターを設置・運営しました。

次代を担う人を大切に育てるまち

部活動地域連携推進事業(501万円)

地域連携による休日部活動の支援体制を充実させるため、部活動地域連携推進員を配置するとともに、モデル事業による運営体制等の検証を行い、地域連携・地域展開の推進を図りました。

給食費の無償化(2,560万円)

国の物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用し、令和8年1月から令和8年3月の市内小中学校給食費を無償化しました。

自らの力で歩み続ける、活力あるまち

キャッシュレスポイント還元事業(9,803万円)

個人消費の喚起やキャッシュレス化による商業活動推進のため、市内対象店舗でキャッシュレス決済によるポイント還元を実施しました。

七宝焼街角ミュージアム事業(71万円)

七宝焼アートヴィレッジ所蔵の「尾張七宝」花瓶を民間事業者へ貸出し、多くの人々の目に触れる場所に展示することで、七宝焼をPRしました。



同報系防災行政無線 屋外拡声器



あま市防災ハザードマップ



尾張七宝

問 財政課 ☎444・1714